

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・高学年、特に5年生の資料の読み取りに対する手立てや社会的事象への興味関心を高める手立てについては有効であった。

(2) 課題

- ・中学年における資料の読み取りの力の育成や定着については更に丁寧に行う必要がある。
- ・中学年の社会的な事象との出会い方などを工夫し、主体性を高める必要がある。
- ・高学年、特に6年生においては、資料から読み取ったことを自分の言葉で表現することに苦手意識を抱いているため、表現方法については改善が必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

【◎…目標値を上回った(+5以上) ○…目標値と同程度(±0～+4.9) ▲…目標値を下回った】

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	▲		
第5学年	◎	◎ (第4学年時)	
第6学年	○	◎ (第5学年時)	◎ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「市の様子」の単位において、地図記号の理解が特に深まっていない。また、「市の様子の変り変わり」の単位での税金や人口変化についての理解も深まっていない。	「市の様子」や「市の様子の変り変わり」の単位で目標値を下回っている。写真など資料を読み取ったり、読み取ったことを比較したりして考える力を高めていく必要がある。	全体的に目標値を上回っている単元が多い。唯一「店ではたらく人」についての学習において下回っている項目がある。体験学習等の活かし方を高めていく必要がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている多くの項目に共通するのが「資料の読み取り」である。資料から分かることを丁寧に読み取る力を高めていく必要がある。	唯一、目標値を下回ったものは、6年生の「資料をもとに表現している」という項目だった。習得した内容を表現する力を高めていく必要がある。	6年生の「生産」に関わる単元において目標値よりも低い傾向がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○グラフ資料から情報を読み取る手順を指導する。グラフのタイトル、出典と発行年、縦軸と横軸、全体の変化、変化の目立つ部分の順で読み取ることを繰り返し指導することで定着を図る。 ○地図記号について指導したのちに、繰り返し復習し、定着を図る。	○資料から読み取ったことを基に考える活動や、読み取った複数の情報を関連付けて考える活動を多く取り入れる。 ○人々の努力や工夫について調べた後、「なんのためにその努力や工夫をしているのか。」と児童の思考を促す質問をする。	○児童が驚き、疑問をもつことができるように資料の提示の仕方を工夫する。 ○児童が疑問について予想し、予想を確かめるための学習計画を立てることで、見通しをもって単元を通して意欲的に追究できるようにする。また、体験的な活動を取り入れることで、実感をもった学びにしていく。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○日本の水産業や食料生産について、地図帳やデジタル教材を活用して調べる機会を設ける。 ○資料を読み取る力を高めるために、産業と情報との関わりについては、異なる立場の人々が情報ネットワークを活用する様子を調べ、書きまとめる学習を取り入れていく。	○資料から読み取ったことを基に考え、表現する力を伸ばすために、読み取る際の着眼点を確認してから示し、グループ内で考えたことを共有する時間を設定する。グループで調べたことや考えたことをホワイトボード等にまとめる学習を取り入れていく。	○児童の興味を高めるような時事を取り上げ、社会的な事象に触れる機会を増やしていく。タブレット等を活用し、多様な学習形態を取り入れ、児童が主体的に学んでいけるよう工夫する。 ○6年生の「生産」に関わる単元を他の単元と関連付けながら学習を行っていく。